

令和5年度第1回学校運営協議会 議事まとめ

熊谷市立三尻中学校

- 日時 令和5年4月25日(火) 15時00分から16時30分まで
- 会場 三尻中学校図書室
- 出席者
 - (委員) 阪本真由美委員(本校PTA会長) 田沼 亮介委員(学区内小学校PTA)
 - 柳澤 一正委員(三尻連合自治会長) 藤野 和夫委員(籠原連合自治会長)
 - 板垣 洋子委員(保護司) 茂木 典夫委員(学区内青少年健全育成会)
 - 根岸巳代子委員(民生児童委員) 茂木 照司委員(学識経験者)
 - (職員) 田沼 良宣(校長) 新井美保子(教頭) 松浦達也(主幹教諭)

1 会長・副会長の選出

協議会に会長及び副会長1名を置き、会員の互選によりこれを定める。

(熊谷市学校運営協議会規則第6条)

会長 藤野 和夫 様

副会長 茂木 照司 様

2 協議 (議長:本校学校運営協議会長 藤野和夫様)

- (1) 学校経営方針について 承認
資料 「令和5年度熊谷市立三尻中学校学校経営方針」
- (2) 校内組織の編成について 承認
資料 「令和5年度校内組織一覧」
- (3) 今年度の取組について(主なご意見を記載)
 - ①研究(文部科学省「教育課程特例校」指定)の推進について
 - ・総合的な学習の時間を増やすというのはとてもいいと思う。この時間に育成する「自ら課題をみつけ、解決していく力」は、これからの時代に必要な力である。
 - ・校長からの説明にもあった通り、保護者への説明は大事である。HPの活用もいいアイデアだと思う。特に、時間を削減した教科が「それで大丈夫なのか」の説明をしっかりとった方がいい。
 - ・各種学力調査の結果についても、できる範囲で公表が必要である。
 - ②生活のきまりの見直しについて
 - ・校則の中には、一般的な感覚で理解できないものもあるのではないかと。先生方だけでなく、生徒の意見や保護者、地域など様々な意見に耳を傾け、オープンに検討することで、納得感のある校則ができると思う。
 - ・もともと存在するルールを変えるのは大変なことである。生徒には「権利と義務」についてよく考えさせることが大切だ。好きなようにルールを変えるということではない。そこを理解させないといけない。

- ・見直しの過程で「おりあいをつけること」を学ぶのではないか。

③地域との協働について

- ・資源回収が現在のような形になっており、地域のコミュニティがなかなか機能していない面もある。生徒以前に保護者が地域に溶け込めていない例もあるようだ。
- ・生徒、保護者、地域の皆さんと一緒に作業をする、共に汗を流すというアナログな、昔ながらのやり方も意義はある。例えば、除草作業。
- ・以前は、三尻中でも地域の方が講座をもって、しめ縄やもちつき、ベーゴマなど昔の伝統文化や遊びなどを生徒に教えるという取組もしていた。
- ・本年度、総合的な学習で熊谷のことを調べたりする取組を行うのであれば、そういうことに、学校運営協議会としてお手伝いできることもあるのではないか。生徒にとって身近な話題は、生徒たちが自主的に学習に取り組むよいチャンスである。
- ・今後、人材バンクのようなかたちで、地域の人材を集めることもいいのではなか。

記録 三尻中主幹教諭：松浦達也